
♪どれみふぁそったくん♪

～子どものための

アウトリーチ～

第1章 プロジェクトの概要など

1. プロジェクトの名称、目的など

(1) 名称

♪どれみふぁそったくん♪

～子どものためのアウトリーチ～

(2) 目的

地方の幼稚園、保育園、小学校、及び福祉施設の子どもなど、普段生の演奏を聞く機会の少ないと思われる子ども達に向けて出張で演奏会を行い、子ども達にとってよき音楽体験となる機会を提供する。

ただ聴くだけの鑑賞会にとどまらず、楽器のしくみや音楽の歴史について知るなど学習の面を持ち、生涯学習としての視点を意識し音楽に関わることでできる場面を設けるなど、よき音楽体験として子どもたちに変化をもたらす機会となり得るよう留意する。

また、それぞれのニーズにどう応じられるか、主催する側の意向をどこまで実施できたか、以上の3つの視点を持って活動を行い、実践を通して報告する。

(3) 方法

① 実施先とアポイントメントを取る。現場のニーズを把握する。

② 現場のニーズに応じた活動や演奏会の

企画案を作成し、実施に向けた準備をする。

③ 現場の方に企画内容を確認して頂き、企画案を修正し改善案を作成する。

④ 活動実施後、現場のニーズに答えられているか、学習の面はあるか、参加型であるかという3つの視点から分析を行う。

2. 代表者および構成員

・代表者

小川友菜 音楽領域専攻 3回生

・構成員（運営・編曲・演奏）

多胡舞花 英語領域専攻 4回生

吉村美咲 英語領域専攻 4回生

泉川真緒 音楽領域専攻 4回生

植田亜由美 音楽領域専攻 4回生

川原結満 音楽領域専攻 4回生

小島美優羽 音楽領域専攻 4回生

坂口瑛花 音楽領域専攻 4回生

佐久間羽菜 音楽領域専攻 4回生

佐藤舞 音楽領域専攻 4回生

柴田遥華 音楽領域専攻 4回生

杉本瑞樹 音楽領域専攻 4回生

多田初穂 音楽領域専攻 4回生

谷口茉鈴 音楽領域専攻 4回生

角田優愛 音楽領域専攻 4回生

中谷優友 音楽領域専攻 4回生

船井徳佳 音楽領域専攻 4回生

村田若菜 音楽領域専攻 4回生

西尾爽花 数学領域専攻 3回生

細田基 理科領域専攻 3回生

小川友菜 音楽領域専攻 3回生

金崎真侑 音楽領域専攻 3回生

川北春優人 音楽領域専攻 3回生

北川瑞葉 音楽領域専攻 3回生

清水咲葉 音楽領域専攻 3回生

砂田梨帆 音楽領域専攻 3回生

武波敬 音楽領域専攻 3回生

辰野友音	教育学専攻	2 回生
大下瑠佳	技術領域専攻	2 回生
浅沼萌音	音楽領域専攻	2 回生
天野穂香	音楽領域専攻	2 回生
伊藤茉莉菜	音楽領域専攻	2 回生
今村凧沙	音楽領域専攻	2 回生
瀬川なつみ	音楽領域専攻	2 回生
田中凜音	音楽領域専攻	2 回生
土江 実咲	音楽領域専攻	2 回生
徳富菜々夏	音楽領域専攻	2 回生
成田佳菜子	音楽領域専攻	2 回生
西村朋花	音楽領域専攻	2 回生
板東優和	音楽領域専攻	2 回生
松阪恵鈴	音楽領域専攻	2 回生
松村彩	音楽領域専攻	2 回生
宮本鈴音	音楽領域専攻	2 回生
村瀬知里	音楽領域専攻	2 回生
北村 芽歩	教育学専攻	1 回生
三石真輝	教育学専攻	1 回生
松田純奈	幼児教育専攻	1 回生
安東優衣	音楽領域専攻	1 回生
入江美佑	音楽領域専攻	1 回生
上田心晴	音楽領域専攻	1 回生
大形 菜摘	音楽領域専攻	1 回生
後藤綺更	音楽領域専攻	1 回生
榊原花菜	音楽領域専攻	1 回生
高橋さくら	音楽領域専攻	1 回生
林杏樹	音楽領域専攻	1 回生
三浦花梨	音楽領域専攻	1 回生
八尾亘晃	音楽領域専攻	1 回生
和氣真恵	音楽領域専攻	1 回生
小嶋泰地	連合教職大学院	1 回生
瀧野大晋	連合教職大学院	1 回生

3. 助言教員

山口博明教員（音楽科）

4. アウトリーチについて

Out（外へ）reach（手を差し出す）という意味の英語である。元々社会福祉の分野で行われる地域社会への奉仕活動や教育普及活動などの意味で用いられていた。現在では、現場へ出向いて活動する「訪問〇〇」「出前〇〇」といった受け手のニーズに合わせた取り組みも指す。

音楽分野でのアウトリーチ活動とは、音楽家や音楽団体などが音楽に普段触れる機会の少ない人々に働きかけ、音楽を普及することであり、さらに提供者と享受者が対等な立場で一緒に楽しむという双方向的なスタンスが特徴である。

第2章 内容や実施経過など

（4月） 活動参加アンケート実施

（5月）

（6月）

（7月） どんどん文庫

桃山東小学校（6年生）

（8月） こぐまキッズクラブ

（9月） 鶴山保育所

北大津養護学校

宇治支援学校

（10月） 墨染寺

壬生保育所

桃山東小学校（5年生）

（11月） 桃山学園

桃山東小学校（4年生）

Music Theory

桃山東小学校（1, 2, 3年生）

嵯峨野児童館

春日野児童館

（12月） 醍醐西小学校（4年生）

同心児童館

山科げんきすぽっと 03

歌とおはなしの会

第3章 結果や成果など

1. どんどん文庫

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及び電話での打ち合わせを通じて活動内容の調整を行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年7月5日(土)

15時00分～15時40分

②対象 幼児、小学校低学年

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン2世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱
2. 楽器紹介
3. ヨハン・シュトラウス1世《ラデツキー行進曲》/オーケストラ
4. ジミー・ドット《ミッキーマウスマーチ》/オーケストラ
5. アメリカ民謡《幸せなら手をたたこう》
6. 童謡《糸巻き》
7. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱
8. 坂田おさむ《ありがとうの花》/エンディング
9. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

杉本瑞樹・武波敬・岸川真歩・瀬川なつみ・土江実咲・北村芽歩・三石真輝・松田純奈・後藤綺更・榊原花菜・高橋さくら・林杏樹・和氣真恵

⑤当日の様子

本演奏会は、暑さの厳しい中にもかかわらず、当日79名が参加する大変盛況な催しとなった。初参加の家族からは「楽しかった」との声が聞かれた。当日は参加していた1,2年生の子どもたちによる歌の発表もあった。発表した子どもたちからは、「一緒に弾いてくれたピアノと

ヴァイオリンの演奏に支えられて安心して歌うことができ、良い思い出になった」との評価を得た。

会場は直前の別企画によりややざわついた状況であったが、演奏開始とともに参加者全体の意識が集中し、特に「ラデツキー行進曲」では手拍子により会場の一体感が生まれ、強弱の感覚を身に付けるきっかけとすることができた。最後に子どもたちと歌った「ありがとうの花」では、演奏者が子どもたちに寄り添う姿勢で歌いかけることで、会場全体が温かい雰囲気にも包まれ、参加者に深い満足感を与えることができた。

また、電子ピアノを貸与してくださった元中学校音楽教師からも演奏内容について高い評価をいただき、本演奏会が本格的な音楽体験の場として有意義であったことがうかがえる。

2. 京都市立桃山東小学校 6年生

(1) 実施までの流れ

本団体OBである対象校教員の紹介により、分掌担当の教員よりご依頼いただいた。実施日までにメール及びオンラインでの打ち合わせを通じて活動の内容を擦り合わせるとともに、必要となる指導案及び教材・教具についても確認を行なった。

(2) 実施内容

①日時 2025年7月9日(水)

13時50分～15時30分

②対象 京都市立桃山東小学校6年生

③内容

1. ボイスアンサンブルの授業

④演奏者

多胡舞花・杉本瑞樹・中谷優友・小川友菜・金崎真侑・大形菜摘・八尾亘晃・三浦花梨・小嶋泰地

⑤当日の様子

5限、6限での授業内アウトリーチ活動を実

施した。授業内容はボイスアンサンブルの音楽づくりである。授業は各学級ごとに行い、5限は2・3組、6限は1組に行なった。授業冒頭で構成員らは児童らにボイスアンサンブルの例を見せ、興味を持たせるとともにリズムやシラブルについて扱った。

授業冒頭、構成員によるボイスアンサンブルの実演（手本）を提示した効果は大きく、児童らは活動のイメージを即座に掴むことができていた。特に、使用する言葉（シラブル）やリズムの組み合わせについて具体的な例を示したことで、児童らは戸惑うことなく、導入から創作活動へとスムーズに移行することができた。

グループワークにおいては、構成員が各班を巡回し、児童の困り感に対して積極的に声かけを行った。アンケート等の反応からも、学生が能動的に関わることで児童の困りが解消され、主体的に音楽づくりに取り組む姿が見られた。発表の時間では、時間の制約上、数グループの発表にとどまったものの、構成員が児童と共に演奏に加わることで、安心して楽しく発表できる雰囲気が醸成された。一方で、練習時間の確保については「少し足りなかった」との意見もあり、時間配分に課題が残った。また、児童の興味をさらに惹きつけるため、最後のパフォーマンスにおいてより迫力のある演奏を求める声もあり、今後のプログラム構成における改善点として活かしていきたい。



- 1 枚目 全体発表
- 2 枚目 全体発表
- 3 枚目 創作活動

3. こぐま松尾キッズクラブ

（1）実施までの流れ

実施日までにメールでの打ち合わせを通じて活動内容の調整を行った。

（2）実施内容

①日時 2025 年 8 月 12 日（火）
13 時 30 分～15 時 00 分

②対象 小学 1 ～ 4 年生

③内容

- 1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン 2 世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱
- 2. 楽器紹介
- 3. 井上あずみ作曲《さんぼ》/オーケストラ



4. チャイコフスキー「くるみ割り人形」より
《トレパック》/教育楽器によるアンサンブル
5. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイ
プによる演奏
6. 源田俊一郎編曲《ふるさとの四季》/合唱
7. エドゥアルド・ディ・カプア《O sole mio》
/テノール独唱
8. W.A. モーツァルト作曲『魔笛』より《パパ
パの2重唱》/デュエット
9. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》
/テノール重唱
10. 岡弘行作曲《大阪風お好み焼き》/合唱
11. 米津玄師作曲《パプリカ》/ミニオーケス
トラでカップスを用いてリズム遊び
12. ジャックオフエンバック作曲《天国と地
獄》/合奏
13. マルコ・マリナンジェリ《ジャンボリミッ
キー》/オーケストラ演奏に合わせて踊る活動
14. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

杉本瑞樹・中谷優友・小川友菜・川北春優人・
大下瑠佳・西村朋花・宮本鈴音・松阪恵鈴・和
氣真恵・小嶋泰地・瀧野大晋

⑤当日の様子



リズム遊びの様子

4. 鶴山保育所

(1) 実施までの流れ

GoogleForms より依頼をいただいた。事前に
メール等で内容の打ち合わせを行い、演奏する
楽曲の選定をした。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 9 月 4 日 (木)

10 時 00 分～10 時 30 分

②対象 幼稚園児 0-5 歳 78 名

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・
ハマースタイン 2 世作詞《ドレミのうた》/
オーケストラ・斉唱
2. 楽器紹介
3. 坂田おさむ作曲, 構成員編曲《どんな色
が好き》/合奏、合唱
4. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイ
プによる演奏
5. 童謡《糸巻き》/手遊び
6. アメリカ民謡《幸せなら手をたたこう》
/手遊び
7. 越部信義作曲《おもちゃのチャチャチ
ャ》/合奏、合唱
8. エドゥアルド・ディ・カプア《O sole
mio》/テノール独唱
9. 坂田おさむ《ありがとうの花》/エンデ
ィング

④演奏者

中谷優友・杉本瑞樹・吉村美咲・辰野友音・
西村朋花・板東優和・田中凜音

⑤当日の様子

園児らは構成員の演奏する曲を興味深く聴
くだけではなく、口ずさんだりしていた。また、
楽しみながら手遊びにも参加している様子だ
った。「子どもたちもワクワクきらきらした目
で見ていた会」であったとの評価を活動先から
からの感想でいただいております、本活動が子ども
たちのニーズに即した活動であったことが読
み取れる。

5. 北大津養護学校

(1) 実施までの流れ

実施日までにメールおよび電話会議での打ち合わせを通じて活動内容の調整を行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年9月22日(月)

11時00分～11時45分

②対象 滋賀県立北大津支援学校

中学部4～5組24名

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン2世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱
2. 楽器紹介
3. ヨハン・シュトラウス1世《ラデツキー行進曲》/オーケストラ
4. エドゥアルド・グリーグ《山の魔王の宮殿にて》/オーケストラによる指揮者体験
5. 黒須克彦《夢をかなえてドラえもん》/オーケストラ・斉唱
6. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイプによる演奏
7. 坂田修《明日は晴れる》/合唱
8. 源田俊一郎編曲《ふるさとの四季》/合唱
9. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

杉本瑞樹・岸川真歩・田中凜音・西村朋花・宮本鈴音・三浦花梨・八尾亘晃

⑤当日の様子

本演奏会は養護学校での実施であったため、事前に担任教員と綿密な打ち合わせを行い、子どもたち一人ひとりの状態や特性を踏まえたプログラムを構成した。その結果、指揮者体験や楽器体験の場面では、子どもたちが主体的かつ生き生きと音楽に触れる姿が多く見られた。また、学年の歌としてリクエストを受けていた「明日は晴れる」では、2クラスが一体となり、大きな声で演奏に参加する様子が見られ、音楽を通したつながりを感じた。

演奏会直後の感想発表では、「歌が綺麗で感

動した」「一緒に歌えて楽しかった」「本物の楽器を見ることができて楽しかった」など、音楽体験を前向きに受け止める声が多く寄せられ、本演奏会が子どもたちにとって印象深い体験となったことがうかがえる。

さらに、演奏会後には子どもたちと共に昼食をとる時間があり、音楽活動にとどまらない交流を行うことができた。これにより、演奏者と子どもたちとの心理的距離が縮まり、相互理解を深める貴重な機会となった。



演奏会の様子

6. 京都府立宇治支援学校

(1) 実施までの流れ

昨年度に引き続き依頼を受け、実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容を擦り合わせた。

(2) 実施内容

①日時 2025年9月26日(金)

10時30分～11時30分

②対象 京都府立宇治支援学校

高等部肢体不自由クラス8名

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン2世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱
2. 楽器紹介
3. 中村八大作曲 島田陽子作詞《こんにちは世界の国から》/オーケストラ

4. ヨハン・シュトラウス 1 世《ラデツキ行進曲》/オーケストラ

5. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイプによる演奏

6. エドゥアルド・ディ・カプア《O sole mio》/テノール独唱

7. F.P.Tosti《Preghiera》/バリトン独唱

8. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱

9. チャック・リオ《テキーラ》/オーケストラ・斉唱

④演奏者

杉本瑞樹・泉川真緒・大下瑠佳・八尾亘晃・和氣真恵・小嶋泰地

⑤当日の様子

肢体不自由クラス 1～3 年生、計 8 名を対象に本プロジェクトからは構成員 6 名が参加し、演奏アウトリーチ活動を行った。近年のそったくんの活動の中で、初の高等部及び肢体不自由クラスを対象とした活動である。生徒たちは、全員車椅子に座っており、身振り手振りと少しの発声ができる様子だったが、なるべく生徒が参加できるようなプログラムを支援学校の教員と相談し計画した。プログラムの中には、大阪・関西万博にちなんだ内容や日頃の授業で聴きなじみのある曲を挿入した。また、生徒自身が作ったリズムで楽器を鳴らす体験も導入した。

当日は器楽や声楽の演奏に合わせて時折、生徒が楽器で参加できるような形式での演奏アウトリーチ活動を行い、その後に感想の共有や写真撮影なども行った。特に支援学校の教員からは、楽器や声の特徴の違いについて生徒が気づくことができ、生徒と一緒に演奏に参加できたことが好評だった。また、生徒たちも楽器の音色を聴き体を動かしたり、歌声の違いや奏者の演技を見て楽しんだりする様子が見られた。

本プロジェクトとしても、肢体不自由クラス

の生徒と関わることで、彼らが音楽に対してどのようなことを感じ取れるのか、どのような活動が彼らのニーズに合っているのかを考える機会となった。



1 枚目 演奏の様子

2 枚目 演奏の様子

3 枚目 交流の様子

7. 京都市壬生保育所

(1) 実施までの流れ

一昨年度、昨年度に引き続き依頼を受け、実施日まで、主に電話を通して打ち合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年10月22日(水)

15時30分～16時30分

②対象 壬生保育所の乳児・幼児

1部：乳児(0から2歳)

2部：幼児(3から5歳)

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハーマスタイン2世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱

2. 楽器紹介

3. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイプによる演奏

4. 井上あずみ作曲《さんぽ》/オーケストラ

5. アメリカ民謡《幸せなら手をたたこう》/手遊び

6. 越部信義作曲《おもちゃのチャチャチャ》/合奏、合唱

7. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱

8. 坂田おさむ作曲《ありがとうの花》/合唱

9. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④参加者

小嶋泰地・泉川真緒・柴田遥華・武波敬・田中凜音・林杏樹

⑤当日の様子

今回は乳児向けの演奏会と幼児向けの演奏会の2部制で行った。先方からの要望があり、子どもたちが普段から歌っている曲や踊っている曲を中心にプログラムを作成し、子どもにとって比較的なじみのある演奏を行うことが

できた。また、手遊びをプログラムに多く取り入れた。子どもたちは体を使って実際に体験することを通して、物事を認識する。そこで、学生が子どもと一緒に手遊びを行い、子どもたちも主体的に取り組む姿が見られた。

第2部の幼児向けの演奏会では、楽器紹介を行った。子どもたちは中々生の楽器や音を聞く機会が少ない。そこで、楽器についてのクイズを出題し、加えてどんな音が鳴るかを体感する時間を設けた。子どもたちの中には、トロンボーンの音を聞いて「ゾウさんや!」と言っている子も見られ、音の高低をもとにイメージを膨らませており、学びを深めることができていた。子どもたちは興味関心をもち楽器の名前などを積極的に答えていた。

本演奏会を通して、子どもたちは音楽を身体全体を使って感じ取り、音楽の楽しさを知っている機会となったように思う。



幸せなら手をたたこう

8. 墨染寺

(1) 実施までの流れ

昨年度に引き続き依頼を受け、実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容のすり合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年10月26日(日)

10時5分～11時00分

②対象 地域の方々

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハーマスタイン2世作詞《ドレミのうた》/オ

ーケストラ・斉唱

2. 楽器紹介

3. 井上あずみ作曲《さんぽ》/オーケストラ

4. アメリカ民謡《聖者の行進》/ドレミパイプによる演奏

5. 源田俊一郎編曲 女声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」より《シャボン玉》/ソプラノ

6. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱

7. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

8. 坂田おさむ作曲《ありがとうの花》/合唱

④演奏者

杉本瑞樹・小川友菜・北川瑞葉・岸田真歩・和氣真恵・小嶋泰地

⑤当日の様子



集合写真

9. 京都市立桃山東小学校 5年生

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行なった。

(2) 実施内容

①日時 2025年10月29日(水)

13時50分～15時30分

②対象 京都市立桃山東小学校5年生

③内容

1. 合奏の授業

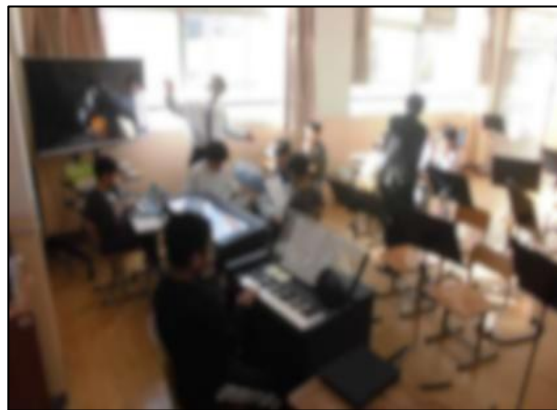
④演奏者

八尾亘晃・和氣真恵・高橋さくら・松村彩・西尾爽花

⑤当日の様子

10月29日(水)の5・6時間目、5年生の児童を対象に、音楽体験学習としてゲストティーチャー授業を実施した。本プロジェクトからは構成員5名が参加し、各クラスが音楽の授業で取り組んでいる合奏曲の指導を行った。当日は、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、木琴、ピアノ、および大太鼓・小太鼓・タン布林・トライアングル等の打楽器など、各パートに分かれての練習を行った。学生は各パートに入り、楽器の奏法や表現について専門的な視点から具体的な助言を行った。

短時間の指導であったが、練習後にはクラス全体の合奏が見違えるほど上達し、児童らの演奏に対する意欲の向上が見られた。活動を通して、児童からは「自分のパートだけでなく、周りの楽器の音色とのハーモニーを大切にしたい」という意識の変化も感じられ、アンサンブルの楽しさや重要性を共有する貴重な機会となった。





1 枚目 練習の様子

2 枚目 練習の様子

10. 桃山学園

(1) 実施までの流れ

昨年度に引き続き依頼を受け、実施日までにメールでの打ち合わせを通じて活動の内容のすり合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 11 月 3 日 (月)

13 時 00 分～13 時 15 分

②対象 学園の児童生徒、地域の方々

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン 2 世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱

2. 楽器紹介

3. 坂田おさむ作曲、構成員編曲《どんな色が好き》/合奏、合唱

4. 越部信義作曲《おもちゃのチャチャチャ》/合奏、合唱

5. 黒須克彦《夢をかなえてドラえもん》/オーケストラ・斉唱

6. 坂田おさむ作曲《明日は晴れる》/斉唱

7. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

小川友菜・西村朋花・坂東優和・岸田真歩・八尾亘晃・小嶋泰地

⑤ 当日の様子

毎年依頼をしてくださっており、プログラムが被らないように工夫した。また、幼稚園の子から中学生、高校生までの子どもたちがいるため、多くの人が楽しめるような曲を選んだ。

当日、司会をしていると子ども達が「この曲知ってる!」「歌えるよ!」と言ってくれたり、手拍子をしてくれたり、会場が一体となって演奏を終えることができた。

11. 京都市立桃山東小学校 4 年生

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容のすり合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 11 月 12 日 (水)

13 時 50 分～15 時 30 分

②対象 京都市立桃山東小学校 4 年生

③内容

1. 合奏の授業

④参加者

八尾亘晃・和氣真恵・松村彩・田中凜音・小嶋泰地

⑤当日の様子

11 月 12 日、前回の活動に引き続き、合奏指導のゲストティーチャーとして授業に参加した。

当日は各楽器のパートごとに分かれ、構成員がそれぞれの楽器についてきめ細やかな指導を行った。担任教諭 1 名では指導が行き届きにくい合奏練習において、学生が各パートにつくことで、児童が楽曲を覚えるスピードが格段に向上する成果が見られた。指導においては、単に音を鳴らすことにとどまらず、楽器の正しい持ち方や音量のコントロールといった基礎的かつ実践的な技術についても、実演を交えながら丁寧に伝えた。「早く演奏できるようになりたい」という児童のニーズに対し、限られた時

間の中で密度の濃い指導を行うことで応えることができた。

担任教諭からは「合奏指導を1人で行うのは大変なため、非常に助かった」との評価をいただき、児童からも「楽しかった」という感想が聞かれるなど、双方にとって有意義な活動となった。



1 枚目 練習の様子

12. MusicTheory

(1) 実施までの流れ

実施日までにチャットツール及びオンラインでの打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。また、編曲等を構成員によって行なった。加えて、以下実施日までに何度か本学内においてリハーサルを行い、それを踏まえて編曲の修正、調整も行なった。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 11 月 16 日(日)

9 時 00 分～12 時 00 分

②対象 ピアノ教室「MusicTheory」の生徒

③内容

1. ピアノ練習曲等

④演奏者

泉川真緒・川原結満・柴田遥華・中谷優友・田中凜音・坂東優和・松阪恵鈴・松村彩・宮本鈴音・上田心春・小嶋奏地・瀧野大晋・白石奈々

⑤当日の様子

当日、ホールにて構成員は演奏活動のみではなく、子どもたちとの交流も活発に行なっていた。昨年度も実施しており、また、事前のリハーサルなどで仲を深めていたためスムーズな活動になったと思われる。子どもたちはピアノのみで演奏する発表会とは異なり、多くの人と空気を読み合って演奏をするという新鮮な経験となり、また、楽しんで演奏をしているように見受けられた。

13. 京都市立桃山東小学校 1・2・3 年生

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 11 月 19 日(水)

13 時 50 分～14 時 35 分

②対象 京都市立桃山東小学校 1・2・3 年生

③内容

1. ヨハン・シュトラウス 1 世《ラデツキー行進曲》/オーケストラ

2. 楽器紹介

3. チャイコフスキー「くるみ割り人形」より《トレパック》/教育楽器によるアンサンブル

4. 源田俊一郎編曲《ふるさとの四季》/合唱

5. 源田俊一郎編曲 女声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」より《シャボン玉》/ソプラノ・テノール重唱

6. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱

7. ジョルジュ・ビゼー「カルメン」より《闘牛士の歌》/バリトン

8. 《桃山小学校校歌》/合唱・オーケストラ

④演奏者

中谷優友・柴田遥華・川北春優人・武波敬・

金崎真侑・岸川真歩・田中凜音・西村朋花・
坂東友和・八尾亘晃・林杏樹

⑤当日の様子

本演奏会は、学校現場の教員からも「大成功」と評されるほど、児童の心に深く残る充実した内容となった。演奏中は、クイズや演出の工夫により、子どもたちは飽きることなくプログラムを楽しむ様子が見られた。特に2年生の児童は、背筋を伸ばして熱心に耳を傾ける真剣な鑑賞態度が印象的であった。一方で、盛り上がる場面では会場全体が一体となり、メリハリのある鑑賞ができていた。

演奏終了後、教室に戻ってからも児童の興奮は収まらず、「みんなの演奏がそろってすごかった」「どうしたらあんな声が出せるのだろう」「楽器を触って、演奏してみたい」といった感嘆の声が数多く聞かれたそう。また、教員からは「子どもたちにとって、本物に触れることができるすごく貴重な経験になった」との評価をいただいた。「楽しかった」「面白かった」という児童の直感的な反応に加え、楽器の特徴や音の強弱(ダイナミクス)への言及など、音楽的な資質・能力の向上につながる気付きも見受けられた。これらは、現場のニーズに即し、かつ学習の面でも効果的なアウトリーチ活動であったことを示唆している。



- 1 枚目 楽器紹介
- 2 枚目 ラデツキー行進曲
- 3 枚目 校歌（オーケストラ伴奏）

14. 嵯峨野児童館

（1）実施までの流れ

昨年度に引き続き依頼を受け、実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

（2）実施内容

- ①日時 2025 年 11 月 22 日(土)
11 時 00 分～12 時 00 分
- ②対象 嵯峨野児童館の児童 15 名
周辺に在住の親子
- ③内容
 - 1. ジミー・ドット《ミッキーマウスマーチ》
/オーケストラの入場曲
 - 2. 楽器紹介

3. ヨハン・シュトラウス 1 世《ラデツキ行進曲》/オーケストラ

4. エドゥアルド・グリーグ《山の魔王の宮殿にて》/オーケストラによる指揮者体験

5. アラン・メンケン《リトルマーメイド》、《ホール・ニュー・ワールド》、《美女と野獣》、《アンダー・ザ・シー》/ディズニーメドレー

6. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/男声重唱

7. マルコ・マリナンジェリ《ジャンボリミッキー》/オーケストラ演奏に合わせて踊る活動

8. 坂田おさむ《ありがとうの花》/エンディング

9. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

小嶋泰地・杉本瑞樹・西村朋花・岸川真歩・土江美咲・坂東優和・田中凜音・八尾亘晃

⑤当日の様子

本演奏会は、児童館の依頼に対して初の指揮者体験を取り入れた活動となった。指揮者体験では当初、代表の子ども 1 名に前で指揮を振らせる予定だった。しかし、初めての体験に困惑する児童が多かったため、急遽全員で曲に合わせて 4 拍子で指揮を振る練習を行った。そして、指揮の振り方に慣れたうえで二人ペアで指揮を行うように切り替えることで児童が安心して活動できるよう工夫を行った。指揮者体験後の演奏では時折 4 拍子を振りながら演奏を聴く児童がいたことから、この指揮者体験は児童館においても有効であったと考えることができる。また、参加メンバーの「声楽専攻以外でもソロやデュエットで歌う機会が欲しい」という要望から、ディズニーのソロやメドレーを取り入れることで楽器を専攻としている学生も参加できるようプログラムを構成した。児童たちが学生の声に耳を傾けその声の違いを聴

きとれるよう、ハモリのあるデュエットや男声や女声のソロを取り入れた。

今回は、幼児も参加していた。初めは、なかなか親の元から離れられず非常に緊張しているように見られた。しかし、終盤になるにつれ、立ち歩いて体を動かし演奏を楽しんでいたことから、その子どもが安心して過ごせる雰囲気やメンバーたちとの良好なコミュニケーションが取れた活動となったことが伺える。演奏会が終了したあとも、児童たちと学生が交流する機会があり、興味のある楽器の音を個別に味わう様子も見られた。



指揮者体験《山の魔王の宮殿》

15. 春日野児童館

(1) 実施までの流れ

昨年度に引き続き依頼を受け、実施日までにメール及びオンライン会議での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 11 月 29 日(土)

10 時 30 分～11 時 30 分

②対象 春日野児童館の児童 約 20 名
周辺に在住の親子

③内容

1. ジョニー・マークス《赤鼻のトナカイ》/オーケストラの自己紹介
2. 楽器紹介
3. ヨハン・シュトラウス 1 世《ラデツキ

行進曲》/オーケストラ

4. エドゥアルド・グリーグ《山の魔王の宮殿にて》/オーケストラによる指揮者体験

5. アラン・メンケン《リトルマーメイド》、
《ホール・ニュー・ワールド》、《輝く未来》、
《アンダー・ザ・シー》/ディズニーメドレー

6. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/男声重唱

7. マルコ・マリナンジェリ《ジャンボリミッキー》/オーケストラ演奏に合わせて踊る活動

8. ジェームズ・ロード・ピアポント《ジングルベル》/エンディング

9. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

杉本瑞樹・川北春優人・西村朋花・岸川真歩・
坂東優和・田中凜音・和氣真恵

⑤当日の様子

本演奏は、依頼先の児童館の職員の要望により、クリスマスにちなんだ内容となるようプログラムを工夫した。それに伴い、メンバーもサンタやトナカイといったクリスマスをモチーフとしたカチューシャをつけて演奏を行うことで、視覚的にもクリスマスの雰囲気味わえるよう意識した。児童たちは、学生と一緒になじみのあるクリスマス曲を歌い、知っている曲が出てれば歌詞を口ずさんでいた。

本研究の楽器紹介では、普段楽器を一つだけ用いて演奏する場合が多い。しかし、11月22日（土）の嵯峨野児童館で行った活動で楽器名を答えられる児童が多かったこと、前回も同じような楽器構成で春日野児童館へ伺ったことから、今回の楽器紹介では、二種類の楽器を組み合わせることでクリスマスの曲を演奏することにより、児童が楽器の音色の違いに注目できるよう工夫を行った。

本演奏会後には、児童たちが回答したアンケート

ートを児童館からいただいた。「来年来てください。」「音楽が面白かったし、踊るのが楽しかった。」「またやりたい。」など演奏を楽しんでいた様子が多々うかがえた。また、「指揮者体験が楽しかった」という意見も数名からあり、指揮者体験が児童たちの関心を引いていたことが分かった。演奏以外に、司会や楽器紹介でのコミュニケーションが豊富で、児童たちと多く交流できた演奏会となった。



ジャンボリミッキー

16. 京都市立醍醐西小学校4年生

（1）実施までの流れ

実施日までにメール及び対面での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

（2）実施内容

①日時 2025年12月3日（水）

14時45分～15時30分

②対象 京都市立醍醐西小学校4年生

③内容

1. 源田俊一郎編曲《ふるさとの四季》/合唱

2. エドゥアルド・ディ・カプア《O sole mio》/テノール独唱

3. ルイージ・デンツァ《フニクリ・フニクラ》/テノール重唱

4. 源田俊一郎編曲 女声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」より《シャボン玉》/ソプラノ独唱

5. ヨハン・シュトラウス 1 世《ラデツキ行進曲》/オーケストラ

6. 楽器紹介

7. チャイコフスキー「くるみ割り人形」より《トレパック》/教育楽器によるアンサンブル

8. 長谷部匡俊編曲《オーラリー》/合奏

④演奏者

八尾亘晃・宮本鈴音・小川友菜・武波敬・吉村美咲・植田亜由美・坂口瑛花・谷口茉鈴・船井徳佳・小嶋泰地

⑤当日の様子

本演奏会は、《ふるさとの四季》の合唱からスタートし、歌から楽器へと移行するプログラムで行った。本演奏会の最後には、児童のリコーダー演奏と一緒に《オーラリー》の合奏を実施した。児童が日頃授業で取り組んでいる曲を取り入れることで、抵抗感なく合奏に取り組めていたように感じた。児童は、リコーダーのみで演奏するときと、様々な楽器が加わって演奏したときの雰囲気の違いを感じていたように思う。

今回は事前に担当教諭と複数回打ち合わせを行い、「音色」に着目させた活動を行いたいと具体的な要望を得ていた。依頼のニーズに応じた演奏会を実施するにあたって、事前の打ち合わせの大切さを改めて感じる機会となった。



ふるさとの四季

17. 同心児童館

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及び電話での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025 年 12 月 6 日 (土)

10:00~14:45

②対象 同心児童館 0 歳～小学 6 年生

③内容

1. ルロイ・アンダーソン作曲《そりすべり》/楽器演奏

2. リチャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン 2 世作詞《ドレミのうた》/楽器紹介

3. TIM RICE ALAN MENKEN 作詞 アラン・メンケン作曲《ホールニューワールド》/二重唱

4. やなせたかし作詞 三木たかし作曲《アンパンマンマーチ》/歌

5. 吉岡治作詞 小林亜星作曲《あわてんぼうのサンタクロース》/楽器演奏 歌

6. ジェームズ・ロード・ピアポイント作曲《ジングルベル》/楽器演奏 歌

7. 中川ひろたか作曲 新沢としひこ作詞《にじ》/全員合唱

④演奏者

八尾亘晃・岸川真歩・瀬川なつみ・泉川真緒

⑤当日の様子

本演奏会は、地域の児童館において開催されたクリスマス会の一環として実施されたものである。行事の中で一緒に演奏する機会を設け、子どもたちが楽器や演奏に親しむことを目的とした。演奏会ではスレイベル、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノの 4 種類の楽器を取り上げ、それぞれの特徴や音の出し方について子どもたちに説明を行った。

子どもたちが主体的に参加できるように、ジングルベルを演奏したときは、全員に鈴を配り、演奏に合わせて鳴らしてもらえるように工夫

した。その結果、多くの子どもたちが興味を示し積極的に楽器を演奏に参加しようとする姿が見られた。特にスレイベルの音は子どもたちがクリスマスの雰囲気を感じやすかったため、全体の雰囲気を盛り上げる役割を果たしていた。

本演奏会を通して、子どもたちは音楽の楽しさを体感するとともに、複数の楽器を知るきっかけになる貴重な経験を得ることができたように思う。

18. 山科げんきすぽっと 03

(1) 実施までの流れ

実施日までにメールでの打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年12月10日(水)

13時30分～14時00分

②対象 0～3歳

③内容

1. チャード・ロジャース作曲 オスカー・ハマースタイン2世作詞《ドレミのうた》/オーケストラ・斉唱

2. 源田俊一郎編曲 女声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」より《シャボン玉》/ソプラノ

3. 新沢としひこ作曲《はらぺこあおむし》/合奏、合唱

4. アメリカ民謡《幸せなら手をたたこう》/手遊び

5. 小森昭宏《いとまきのうた》/手遊び

6. 中川ひろたか《にじ》/アンコール

④演奏者

中谷優友・小川友菜・金崎真侑・八尾亘晃・小嶋泰地

⑤当日の様子

本演奏会は、0～3歳を対象としており、親子で演奏を聞きに来てくださった。歌だけで演

奏をお願いしたいということだったので、楽器は伴奏を弾くピアノだけであった。

プログラムには、子ども達と一緒に演奏ができる手遊びを取り入れたり、はらぺこあおむしの巨大絵本を使わせてもらい、歌を歌った。

観客と舞台の境目がなく、子ども達と演奏中も触れ合いながら、活動を行うことができた。



いとまきのうた

19. うたとおはなしの会

(1) 実施までの流れ

実施日までにメール及び対面での打ち合わせを通じて活動の内容の擦り合わせを行った。

(2) 実施内容

①日時 2025年12月13日(土)

10時15分～10時30分

②対象 地域の親子20組程

③内容

1. 《もろびとこぞりて》/合奏

2. ルロイ・アンダーソン作曲《そりすべり》/楽器演奏

3. 楽器紹介

4. MARKS JOHN D作曲 新田宜夫作詞《赤鼻のトナカイ》/楽器紹介、歌

5. 吉岡治作詞、小林亜星作曲《あわてんぼうのサンタクロース》/楽器演奏、歌

6. ジェームズ・ロード・ピアポイント作曲《ジングルベル》/楽器演奏、歌

④演奏者

小川友菜・西村朋花・坂東優和・岸田真歩・
田中凜音・成田佳菜子・八尾亘晃

⑤当日の様子

京都教育大学幼児教育専攻主催のうたとお
はなしの会に森の音楽隊として出演した。

演奏では、音楽に合わせて手拍子をしたり、
タンバリンや太鼓等が配られて一緒に演奏し
たりと音楽を子どもたちと一緒に作ることが
できた。



集合写真

第4章 まとめと反省、今後の展望など

(1) 成果

本年の活動における成果について述べる。
大きな成果として、従来の「鑑賞型」の演奏会
に加え、学校現場より合奏指導などの「体験・
指導型」の依頼を受け、実施できたことが挙げ
られる。これらの依頼に対し、高度な演奏技術
と専門知識を持つ学生を派遣し、現場教員の指
導を支援することができた。特に、担任教諭一
名では対応が困難な「パート別指導」や「楽器
ごとの専門的な奏法指導」を、複数の学生が分
担して実施できた意義は大きい。これにより、
きめ細やかな指導が可能となり、児童の技術向
上のみならず、現場教員の負担軽減や授業の充
実にも寄与することができた。

また、プロジェクトの運営面において、
Microsoft SharePoint を活用した構成員間の
情報共有システムを構築・完成させたことが成
果として挙げられる。従来、個別に管理されが
ちであった楽譜データや活動のカレンダーな
どのあらゆる資料をクラウド上で一元管理す
る仕組みを整えた。これにより、構成員が必要
な情報に即座にアクセスできる環境が整い、運
営業務や編曲活動の効率・円滑化、および透明
性が飛躍的に向上した。

(2) 課題・展望

本年度は非常に多くの依頼をいただき活動
の幅が広がった反面、それぞれの活動に対して
十分な練習・準備時間を充当することが困難と
なる局面が見られた。依頼一つひとつに対して、
質の高い演奏や指導を提供し続けるためには、
スケジュールの過密化を防ぐための「受注調整」
や、限られた時間内で効率的に準備を進めるた
めのリハーサル体制の再構築が求められる。

そして、活動件数の増加に比例して、外部機
関との連絡調整、企画立案、資料作成といった
運営業務が著しく多忙化した。現在は一部のメ
ンバーに事務負担が集中する傾向にあり、持続
可能な活動体制を維持するためには大きな課
題である。今後は、成果としてあげた
SharePoint 等の ICT ツールをさらに活用し、
業務の効率化を進めるとともに、構成員全体で
役割を適切に分担する組織づくりが必要であ
ろう。

<参考・引用文献>

(1) 松本 菜摘, 河添 達也 (2015)「小学校
音楽科における「教育プロジェクト型アウト
リーチ」の授業開発研究」『島根大学教育臨
床総合研究』島根大学教育学部附属教育臨床
総合研究センター, pp. 181-190

(2) 林睦(2009)「音楽のアウトリーチ活動

に関する一考察—日本における導入 10 年
と今後の課題」『音楽教育学の未来』音楽之
友社, pp. 280-290

(3) 檜下達也, 鈴木淳之介, 田邊織恵 (2025)
「教員養成大学における学生主体の音楽ア
ウトリーチ活動—京都教育大学「どれみふぁ
そったくん」の 10 年間」『京都教育大学紀要』
第 147 巻, pp. 69-86